

●実務経験のある教員等による授業科目

ヴォーカル科

ヴォーカル&ダンスコース

| | 科目 | 1年 | 2年 | 必修の別 | 授業形式 | 実務経験の有無の別 | 実務経験授業の 時数 |
|----------------|-------------------|------|-----|------|------|-----------|---------------|
| 全科 共通 科目 | SHOW!音楽エンタテイメントゼミ | 38 | 38 | 必修 | 講義 | ○ | 76 |
| | デビュー・就職実務Ⅰ | 93 | | 必修 | 講義 | | - |
| | デビュー・就職実務Ⅱ | | 55 | 必修 | 講義 | | - |
| | 著作権 | | 20 | 必修 | 講義 | | - |
| | PC実習 | 45 | | 必修 | 実習 | | - |
| | 選択授業 | 38 | 38 | 必修 | 講義 | | - |
| | 異文化研究 | 22 | | 必修 | 講義 | | - |
| | イベント制作実習A | 134 | 110 | 必修 | 実習 | ○ | 244 |
| | イベント制作実習B | 301 | 305 | 必修 | 実習 | ○ | 606 |
| 専門 科目 | スコアトレーニング | 19 | | 必修 | 講義 | | - |
| | 音楽理論 | 19 | | 必修 | 講義 | | - |
| | ヴォイストレーニングⅠ | 38 | | 必修 | 実技 | ○ | 38 |
| | ヴォイストレーニングⅡ | | 38 | 必修 | 実技 | ○ | 38 |
| | コーラスワーク | 38 | 38 | 必修 | 実技 | ○ | 76 |
| | ライブパフォーマンス実習 | 38 | 38 | 必修 | 実習 | ○ | 76 |
| | ソルフェージュ | 19 | | 必修 | 実習 | ○ | 19 |
| | ヴォーカル実技Ⅰ | 19 | | 必修 | 実技 | ○ | 19 |
| | ヴォーカル実技Ⅱ | | 38 | 必修 | 実技 | ○ | 38 |
| | アーティストトレーニング | 19 | 19 | 必修 | 実技 | ○ | 38 |
| | オーディション対策 | 38 | | 必修 | 実技 | ○ | 38 |
| | ヴォーカルレコーディング | | 38 | 必修 | 実技 | ○ | 38 |
| | アンサンブル実習 | | 38 | 必修 | 実技 | | - |
| | 芝居基礎 | 38 | 38 | 選択必修 | 実習 | ○ | 76 |
| | ダンス基礎 | 38 | 38 | 選択必修 | 実技 | ○ | 76 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 合計 | 総授業時間数 | 956 | | | | | |
| 合計 | 総授業時間数 | | 851 | | | | 合計 |
| 卒業時最少時間 | | 1807 | | | | | 1496 |

※「芝居基礎」と「ダンス基礎」はどちらか1科目を選択

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------------|---|---------|-------|
| 科目名 | SHOW!音楽エンタテインメントゼミ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 山本 雄太(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。</p> <p>講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 2 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 3 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 4 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 5 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 6 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 7 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 8 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 9 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 10 | 後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 11 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 12 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 13 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 14 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 15 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 16 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 17 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 18 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 19 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | <p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。</p> <p>(2019年度例)</p> <p>エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等</p> |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|-------|
| 科目名 | デビュー・就職実務 I | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 93 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について |
| 2 | 第1編3章 特別講師による講義・レポート提出 |
| 3 | 第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 4 | 第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 5 | 第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出 |
| 6 | 第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出 |
| 7 | 第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 8 | 第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 9 | 第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 10 | 第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 11 | 第2編2章 特別講師による講義・レポート提出 |
| 12 | 第2編2章 特別講師による講義・レポート提出 |
| 13 | 第3編4章 特別講師による講義・レポート提出 |
| 14 | 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導 |
| 15 | 手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出 |
| 16 | 郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出 |
| 17 | 志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出 |
| 18 | 自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出 |
| 19 | 履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 20 | 履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 21 | 履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出 |
| 22 | 履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出 |
| 23 | 送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出 |
| 24 | 模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出 |
| 25 | 特別講師による講義・レポート提出 |
| 26 | 進路面談・指導 |
| 27 | 労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | 社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント |
| 成績評価 | 課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------------------------|---|---------|-------|
| 科目名 | デビュー・就職実務Ⅱ | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 19 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成 |
| 2 | アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック |
| 3 | アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック |
| 4 | アーティスト志望:プロフィール制作方法の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック |
| 5 | アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。 |
| 6 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。 |
| 7 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック |
| 8 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック |
| 9 | アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック |
| 10 | アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】 |
| 11 | アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】 |
| 12 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング |
| 13 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック |
| 14 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編) |
| 15 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編) |
| 16 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック |
| 17 | アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける |
| 18 | アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック |
| 19 | アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | なし |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | 著作権 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 永島 麻耶 | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 20 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|-------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、DVD視&解説 |
| 2 | Ⅹ章・Ⅰ章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 3 | Ⅱ章・Ⅲ章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 4 | Ⅳ章・Ⅴ章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 5 | Ⅵ章・Ⅶ章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 6 | Ⅷ章・Ⅸ章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 7 | 模擬問題①②の実施及び解説 |
| 8 | 模擬問題③④の実施及び解説 |
| 9 | 模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) |
| 成績評価 | 模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | PC実習 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 45 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施 |
| 2 | テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①② |
| 3 | 模擬試験①～③ |
| 4 | 模擬試験④～⑥ |
| 5 | 模擬試験⑦、サンプル問題 |
| 6 | Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施 |
| 7 | テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①② |
| 8 | 模擬試験①～③ |
| 9 | 模擬試験④～⑥ |
| 10 | 模擬試験⑦、サンプル問題 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | <p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント</p> |
| 成績評価 | <p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------------|---|---------|-------|
| 科目名 | 選択授業 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 山本 雄太(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる |
| 2 | 各科目による |
| 3 | 各科目による |
| 4 | 各科目による |
| 5 | 各科目による |
| 6 | 各科目による |
| 7 | 各科目による |
| 8 | 各科目による |
| 9 | 前期評価 各科目による |
| 10 | 後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる |
| 11 | 各科目による |
| 12 | 各科目による |
| 13 | 各科目による |
| 14 | 各科目による |
| 15 | 各科目による |
| 16 | 各科目による |
| 17 | 各科目による |
| 18 | 各科目による |
| 19 | 後期評価 各科目による |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | ※各科目による |
| 成績評価 | <p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | 異文化研究 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 22 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|-----------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション チーム分け 研究国決定 |
| 2 | 研究① PP作成 |
| 3 | 研究② PP作成 |
| 4 | 研究③ PP作成 |
| 5 | 各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | 成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習A | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 山本 雄太(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 134 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 15 | 本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 16 | 本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 17 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | <p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p> |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習A | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 山本 雄太(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 110 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 15 | 本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 16 | 本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 17 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | <p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p> |

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習B | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 山本 雄太(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 301 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①) |
| 15 | 各専攻ステージ制作 |
| 16 | 各専攻ステージ制作 |
| 17 | 各専攻ステージ制作 |
| 18 | 各専攻ステージ制作 |
| 19 | 各専攻ステージ制作 |
| 20 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②) |
| 21 | 各専攻ステージ制作 |
| 22 | 各専攻ステージ制作 |
| 23 | 各専攻ステージ制作 |
| 24 | 各専攻ステージ制作 |
| 25 | 各専攻ステージ制作 |
| 26 | 各専攻ステージ制作 |
| 27 | 各専攻ステージ制作 |
| 28 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①) |
| 29 | 各専攻ステージ制作 |
| 30 | 各専攻ステージ制作 |
| 31 | 各専攻ステージ制作 |
| 32 | 各専攻ステージ制作 |
| 33 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②) |
| 34 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③) |
| 35 | 各専攻ステージ制作 |
| 36 | 各専攻ステージ制作 |
| 37 | 各専攻ステージ制作 |
| 38 | 各専攻ステージ制作 |
| 39 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 40 | 各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ) |
| 41 | 各専攻ステージ制作(本番) |
| 42 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習B | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 山本 雄太(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 305 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①) |
| 15 | 各専攻ステージ制作 |
| 16 | 各専攻ステージ制作 |
| 17 | 各専攻ステージ制作 |
| 18 | 各専攻ステージ制作 |
| 19 | 各専攻ステージ制作 |
| 20 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②) |
| 21 | 各専攻ステージ制作 |
| 22 | 各専攻ステージ制作 |
| 23 | 各専攻ステージ制作 |
| 24 | 各専攻ステージ制作 |
| 25 | 各専攻ステージ制作 |
| 26 | 各専攻ステージ制作 |
| 27 | 各専攻ステージ制作 |
| 28 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①) |
| 29 | 各専攻ステージ制作 |
| 30 | 各専攻ステージ制作 |
| 31 | 各専攻ステージ制作 |
| 32 | 各専攻ステージ制作 |
| 33 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②) |
| 34 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③) |
| 35 | 各専攻ステージ制作 |
| 36 | 各専攻ステージ制作 |
| 37 | 各専攻ステージ制作 |
| 38 | 各専攻ステージ制作 |
| 39 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 40 | 各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ) |
| 41 | 各専攻ステージ制作(本番) |
| 42 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------|---|---------|-------|
| 科目名 | スコアトレーニング | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 佐藤 和音 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 19 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>ヴォーカリストとして大切な「楽譜を読む力」を基礎からしっかりと身につける。 また今後オリジナル楽曲を制作した際に人に演奏やアレンジを依頼する際に必要となる「楽譜を書く力」もしっかりと身につける。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 楽譜を読むこと、書くことの必要性とは |
| 2 | 小節線／縦線／音部記号／臨時記号 |
| 3 | 反復記号 |
| 4 | 拍子と拍子記号 |
| 5 | 音符と休符、聞き取り、読み書き 8分音符まで |
| 6 | 音符と休符、聞き取り、読み書き 16分音符 |
| 7 | 音符と休符、聞き取り、読み書き 復習 |
| 8 | テスト準備 練習問題 |
| 9 | 前期テスト |
| 10 | イントロダクション 前期復習、後期授業の説明 |
| 11 | 前期復習 音符の読み書き |
| 12 | 音感チェック |
| 13 | 簡単なリズムの聞き取り |
| 14 | 簡単なメロディの聞き取り① |
| 15 | 簡単なメロディの聞き取り② |
| 16 | 簡単な楽譜の視唱① |
| 17 | 簡単な楽譜の視唱② |
| 18 | 簡単な楽譜の視唱③ |
| 19 | 後期まとめ テスト |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | たのしく学べる 学生の楽典教室 学生に購入はさせず、適宜コピーで対応する |
| 成績評価 | 授業態度および学習意欲20%、テスト成績80% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | なし |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------|---|---------|-------|
| 科目名 | 音楽理論 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 梅川 洸平 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 19 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 音楽理論の基礎からコード理論・コードスケールの基本と相互関係を総合的に学びます。 到達目標は、読譜、記譜ができるようになり、音楽理論を活用した作曲やアレンジができるようになる事。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション・音楽理論とは何か。 |
| 2 | メジャースケールの理解。 |
| 3 | 音符・休符・リズムの理解(基本編)。 |
| 4 | 音符・休符・リズムの理解(リズムトレーニング編)。 |
| 5 | 音符・休符・リズムの理解(符点音符・リズムトレーニング編)。 |
| 6 | 音程(インターバル)の理解(完全音程・長音程・短音程編)。 |
| 7 | 音程(インターバル)の理解(増音程・減音程編)。 |
| 8 | 前期末テスト。 |
| 9 | 前期末テスト解説。 |
| 10 | 和音の理解(三和音編) |
| 11 | 和音の理解(四和音編) |
| 12 | 和音の理解(テンションコード編) |
| 13 | 和音確認テスト・答え合わせ・解説 |
| 14 | メジャーダイアトニックコードの理解(基本編) |
| 15 | メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編) |
| 16 | メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編) |
| 17 | メジャーダイアトニックコードの理解(コードスケール編) |
| 18 | 後期末テスト |
| 19 | 後期末テスト解説 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------|---|---------|-------|
| 科目名 | ヴォイストレーニング I | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 延沢 汐美 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対しての興味と関心を深くする。ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。</p> <p>また、声の種類やそれぞれの課題に合わせた課題曲の歌唱を通して、自分自身の声と向き合うとともに、様々な音楽ジャンルや歴史にも興味を持たせる。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション／基礎レッスン 現段階での声質・声量・歌唱力チェック→次回の授業にて行うことを伝える |
| 2 | 基礎レッスン／MCTレーニン 現段階での声質・声量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ |
| 3 | 基礎レッスン／MCTレーニン 発声の仕組み・共鳴腔説明(咽頭腔・胸腔:「お」、口腔:「あ」、鼻腔:「んが」)／ハミングロングトーン |
| 4 | 基礎レッスン／MCTレーニン ロングトーン／音階「ま」／発声から発音へ |
| 5 | 基礎レッスン／MCTレーニン 5度音程／オクターブ音程／細かい音程(上昇・下降)／横隔膜トレーニング(ドッグプレス) |
| 6 | 基礎レッスン／MCTレーニン ファルセット／課題曲発表／HW:曲を覚えてくる |
| 7 | 基礎レッスン／MCTレーニン 課題曲 テーマ:ファルセット 1コーラスのみ／次回課題曲発表 テーマ:自分で選曲するファルセット曲 |
| 8 | 基礎レッスン／MCTレーニン 前期課題発表■発声練習(音源)に合わせて ■課題曲 自分で選曲するファルセット曲 フルコーラス |
| 9 | 課題曲 1人1人に課題曲 Full cho |
| 10 | イントロダクション／基礎レッスン 課題曲 テーマ:パワフル |
| 11 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:パワフル |
| 12 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:リズム(R&B) |
| 13 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:リズム(R&B) |
| 14 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:バラード |
| 15 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:バラード |
| 16 | 基礎レッスン 課題曲 アニソン |
| 17 | 基礎レッスン 課題曲 アニソン・1人1人に課題曲(HW) |
| 18 | 基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 1cho歌唱 |
| 19 | 基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 Full cho歌唱 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | <ul style="list-style-type: none"> 講師制作テキスト 課題曲の楽譜・音源・歌詞カード |
| 成績評価 | <p>課題曲の成果30%、授業態度および学習意欲70%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事 |

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|-------|
| 科目名 | ヴォイストレーニングⅡ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 延沢 汐美 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対しての興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深く、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。</p> <p>ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。</p> <p>また、声の種類やそれぞれの課題に合わせた課題曲の歌唱を通して、自分自身の声と向き合うとともに、様々な音楽ジャンルや歴史にも興味を持たせる。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション／基礎レッスン 現段階での声質・音量・歌唱力チェック→次回の授業にて行うことを伝える |
| 2 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 現段階での声質・音量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ→それぞれの声質や課題点などアドバイス |
| 3 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲「Jupiter」 テーマ:音域の広い曲 ポイント説明 HW:曲を覚えてくる、自分のキーに合ったオケ音源を持参する |
| 4 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲「Jupiter」 1人ずつ歌唱 1コーラスのみ |
| 5 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲発表 テーマ:自分で選曲する音域の広い曲→音源&歌詞カード2枚持参・キー変更OK 1コーラスのみ |
| 6 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 テーマ:自分で選曲する音域の広い曲 1人ずつ歌唱→音源&歌詞カード2枚持参・キー変更OK 1コーラスのみ |
| 7 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 テーマ:テンポの速い曲「シュガーソングとビターステップ」 1コーラスのみ |
| 8 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 テーマ:自分で選曲するテンポの速い曲／前期評価曲発表 テーマ:自分が苦手な曲 |
| 9 | 基礎レッスン／MCTトレーニング 課題曲 1人1人に課題曲 Full cho |
| 10 | イントロダクション／基礎レッスン 課題曲 テーマ:ロック テーマに合わせて自分で選曲 |
| 11 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:ロック テーマに合わせて自分で選曲 |
| 12 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:リズム(R&B) テーマ:ロック テーマに合わせて自分で選曲 |
| 13 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:リズム(R&B) テーマに合わせて自分で選曲 |
| 14 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:バラード テーマに合わせて自分で選曲 |
| 15 | 基礎レッスン 課題曲 テーマ:バラード テーマに合わせて自分で選曲 |
| 16 | 基礎レッスン 課題曲 アニソン |
| 17 | 基礎レッスン 課題曲 アニソン・1人1人に課題曲(HW) |
| 18 | 基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 1cho歌唱 |
| 19 | 基礎レッスン 課題曲 1人1人に課題曲 Full cho歌唱 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | <ul style="list-style-type: none"> ・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード |
| 成績評価 | <p>課題曲の成果30%、授業態度および学習意欲70%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|------------------------|---|---------|-------|
| 科目名 | コーラスワーク | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | マクレーン有美 アシスタント：塩田美月 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>ヴォーカリストとして大切な「相対音感」を身につけるためのトレーニングを行う。 全員での合唱・アカペラ曲の歌唱、少人数でグループにわかれてのコーラスのある曲の歌唱を通し、相手の音を聞く、相手の音に合わせることを通し、1つの音楽を大人数で作り上げることや、人の音に合わせて自分の声を出す意識を高める。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習 |
| 2 | 発声練習 合唱曲① パート別音取り・パート練習 |
| 3 | 発声練習 合唱曲① パート練習・合唱 |
| 4 | 発声練習 合唱曲① パート練習・合唱 |
| 5 | 発声練習 合唱曲② パート別音取り・パート練習 |
| 6 | 発声練習 合唱曲② パート練習・合唱 |
| 7 | 発声練習 合唱曲② パート練習・合唱 |
| 8 | 発声練習 合唱曲③ パート別音取り・パート練習 |
| 9 | 発声練習 合唱曲③ パート練習・合唱 |
| 10 | 後期イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習 |
| 11 | グループコーラス曲① グループ別練習 |
| 12 | グループコーラス曲① グループ別練習 |
| 13 | グループコーラス曲① グループ別練習 |
| 14 | グループコーラス曲① 発表 |
| 15 | グループコーラス曲② グループ別練習 |
| 16 | グループコーラス曲② グループ別練習 |
| 17 | グループコーラス曲② 発表 |
| 18 | 合唱曲④ パート練習 |
| 19 | 合唱曲④ 合唱 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | 各課題曲楽譜・音源を配布 |
| 成績評価 | <p>授業態度および学習意欲50%、音程の正確さなど技術全般50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドル、ゴスペルグループ、合唱団の指導</p> <p>ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講</p> <p>自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験</p> |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------|---|---------|-------|
| 科目名 | ライブパフォーマンス実習 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 李 玗承 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--------------------------------------|
| 授業概要 | 実践力を養う 人脈を増やす パフォーマンス力、メンタル面強化 |
|------|--------------------------------------|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック |
| 2 | よろっtoローサ本番 |
| 3 | 反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習 |
| 4 | 自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック |
| 5 | よろっtoローサ本番 |
| 6 | 反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習 |
| 7 | よろっtoローサ本番 |
| 8 | 反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習 |
| 9 | よろっtoローサ本番/前期レポート提出 |
| 10 | 2学科自己紹介/PA担当決め/ヴォーカル科自由曲選曲・決定/MC台本完成 |
| 11 | 練習チェック(営業セット用意、PA込み) |
| 12 | よろっtoローサ本番(PA込み) |
| 13 | 反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック |
| 14 | 練習チェック(営業セット用意、PA込み) |
| 15 | よろっtoローサ本番(PA込み) |
| 16 | 反省会/次回の課題すり合わせ/自由曲選曲・決定/MC台本完成/練習チェック |
| 17 | 練習チェック(営業セット用意、PA込み) |
| 18 | オーディション(アーティスト、PA各3組選抜) |
| 19 | よろっtoローサ本番/後期レポート提出 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | 使用しない |
| 成績評価 | 授業態度および学習意欲80%、課題レポート提出20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 2011年～市内中学校、施設、ダンススタジオにてヴォーカル指導。 2014年～東京交響楽団にいがたコーラス所属。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------|---|---------|-------|
| 科目名 | ソルフェージュ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 野瀬珠美 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 19 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 譜面に記してある様々な要素(旋律、リズム、ハーモニー等)を正確に読み取り、正確に表現する。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 2拍子及び4拍子、四分音符と二分音符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちも並行してして練習する。 |
| 2 | 2拍子及び4拍子、四分音符と二分音符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちも並行してして練習する。 |
| 3 | 3拍子、四分音符と二分音符さらにそれらに対応する休符、順次進行(臨時記号を含む)による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちの練習をする。 |
| 4 | 3拍子、四分音符と二分音符さらにそれらに対応する休符、順次進行(臨時記号を含む)による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちの練習をする。 |
| 5 | 3度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と四分休符を含むリズム打ちの練習も行う。 |
| 6 | 3度音程を含むさらに複雑な旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、順次進行の調音(書き取り)をする。 |
| 7 | 付点二分音符を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と八分休符を含むリズム打ちを練習する。 |
| 8 | タイを含む旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、八分音符、順次進行による 調音を行う。 |
| 9 | 実技テスト。またリズム打ち、調音のテストを行う。 |
| 10 | 2度3度音程を含む旋律を歌えるようにする |
| 11 | 付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。 |
| 12 | 4度音程を含む旋律を歌えるようにする。 |
| 13 | 付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。 |
| 14 | 5度音程を含む旋律を歌えるようにする。 |
| 15 | ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律を歌う練習。 |
| 16 | 4度5度音程を含むさらに複雑な旋律を歌えるようにする。 |
| 17 | ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習。 |
| 18 | ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習。 |
| 19 | 9週までに学んだコーリュブゲン、その他の曲を歌う実技テスト。またリズム打ちのテストも行う。 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | コーリュブゲン・リズムの基礎・視唱ステップアップ |
| 成績評価 | 実技試験結果70%、授業態度および学習態度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論) 作曲家として活動 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------|---|---------|-------|
| 科目名 | ヴォーカル実技 I | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | マクレーン有美 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 19 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>発声基礎から、歌唱に必要なメロディーアプローチ、グループ感、ヴォーカルコントロール全般のレッスンを行う。個人レッスンを通して自分の声としっかり向き合う事で自分に合った発声法、オリジナリティある表現を見出す。ここで実力をつけ、後期のヴォーカルレコーディングに繋げていく。</p> <p>後期は、実際のレコーディングを通して、コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤホン)を使ってのモニタリングやキューボックスの操作に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ。録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げしていく</p> <p>声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|------------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション、ヒアリング、レッスン時における重要事項の説明 |
| 2 | 個人レッスン |
| 3 | 個人レッスン |
| 4 | 個人レッスン |
| 5 | 個人レッスン |
| 6 | 個人レッスン |
| 7 | 個人レッスン |
| 8 | 個人レッスン |
| 9 | 発表会、振り返り、まとめ(今後の目標、課題の確認) |
| 10 | イントロダクション、選曲のポイント説明、目的を明確にし、目標を立てる |
| 11 | レコーディング |
| 12 | レコーディング |
| 13 | レコーディング |
| 14 | レコーディング |
| 15 | レコーディング |
| 16 | レコーディング |
| 17 | レコーディング |
| 18 | レコーディング |
| 19 | 作品視聴会 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | <p>授業態度および学習意欲50%、歌唱審査50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドルを指導</p> <p>ニューヨーク、ロサンゼルスにてヴォイストレーニングを受講</p> <p>自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験</p> |

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | | |
|------|----------|---|---------|-------|----|
| 科目名 | ヴォーカル実技Ⅱ | | 実務授業の有無 | ○ | |
| 担当講師 | ナタリー石田 | | 講義実施時期 | 前期・後期 | |
| | | | 必修・選択 | 必修 | |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 38 | 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース | |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>プロのヴォーカリストとして必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や、独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。さらに自分では気づけない“自分の持つ声の魅力および欠点”を講師の立場からアドバイスできたら、と思います。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 【自己紹介～歌唱】それぞれに自己紹介してもらい、その際に自分が影響を受けた曲やアーティスト、ジャンルなどをもう一度自分で確認し、最後に今後の方向性や目指すべきものを導き出す。また、現時点での“自分ができる最高の歌”を披露してもらう。 |
| 2 | 【自己分析】自分の声質や声量、キャラクターなどを分析し、まずは自分を一番活かせる曲を披露してもらう。なぜそれを選んだのか、果たしてそれがベストチョイスなのかを客観的に考える。 |
| 3 | 【テーマ:ライブOP曲】自分のライブを開催すると仮定して、そのオープニング曲を歌ってもらいます。ステージングやMCも考え、意識しながら演ってもらいます。 |
| 4 | 【テーマ:昭和歌謡】すでに平成から次の年号になっているこの時点で、昭和に生まれた楽曲のメロディーや詞を噛み締めながら説得力のある歌唱を披露してもらいます。 |
| 5 | 【テーマ:感謝】家族、友人、恋人。大切な人への感謝と愛情を歌に込めてもらいます。感情表現をどこまで伝えられるか、歌に込めた思いを披露してもらいます。 |
| 6 | 【テーマ:クラスメイトをプロデュース】同じ道を志す仲間の音楽性にも関心を持ってもらいたい。仲間のために選曲してもらいます。しっかりと分析してその人に合った曲を。 |
| 7 | 【テーマ:ポエトリー・リーディング】選曲は自由とします。が、歌う前に歌詞の朗読をしてもらいます。どれだけ曲の世界観を理解できるかを自己認識してもらう。この日に最終課題曲を指定して二週後の最終課題に備えてもらいます。 |
| 8 | 【テーマ:バラード】古今東西のバラード曲を披露してもらいます。 |
| 9 | 【評価課題曲】二週前に指示した課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。 |
| 10 | 【休み中のエピソード～歌唱】この休暇中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやってきたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。 |
| 11 | 【テーマ:ジェンダーチェンジ】男子は女性の気持ちを歌った曲。女子は男性の気持ちを歌った曲を披露してもらいます。異性を感じる気持ちを理解し、歌に深みを持てるように。 |
| 12 | 【テーマ:洋楽】現代の若い子は洋楽に触れる機会が少ないと思われます。そこで洋楽の基本、ビートルズ、カーペンターズ等(もちろん他の曲が良ければそれもよし)を披露してもらいます。発音などにも言及します。 |
| 13 | 【テーマ:真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそろそろ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。 |
| 14 | 【テーマ:アカペラ】オケを一切使わずアカペラで歌ってもらいます。リズムなどはハンドクラップやフィンガークラップでつけるようにして、テンポとビッチに注意して。 |
| 15 | 【テーマ:幅広い年代層に向けて】不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になったり涙するような選曲を。この日に最終課題曲配布。 |
| 16 | 【テーマ:90～80年代の曲】90～80年代といってもすでに学生にとってはまだ生まれてもない年代。この時代の曲を選曲し、歌唱してもらいます。 |
| 17 | 【テーマ:ハモリ】男女、男男、女女、ペを組んでデュオ曲を披露。ハモリパートを分担し、美しいハーモニーを紡ぎ出してください。 |
| 18 | 【テーマ:フリー】フリーテーマです。また、最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露しても良い。その際にアドバイスも可能です。 |
| 19 | 【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | 特に使いませんが必要に応じてこちらで資料など用意します。課題曲は基本的には前の週に告知をします。 |
| 成績評価 | 授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | マンダムズのボーカリストとして17年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして俺のイタリアン新潟三越前やWEST長岡店、他、数々のステージで活動中。県内のCMソングやテレビ・ラジオCMナレーションでも活躍。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------|---|---------|-------|
| 科目名 | アーティストトレーニング | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 李 玗承 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 19 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な音楽、文化に触れ、人間性、感性を深める。 ・歌える体作り、基礎体力の向上 ・パフォーマンス力、メンタル強化へつなげる。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 歌える体づくり/ゴスペルについて学ぶ/感想文提出 |
| 2 | 歌える体づくり/ブルースについて学ぶ/感想文提出 |
| 3 | 歌える体づくり/ジャズについて学ぶ/感想文提出 |
| 4 | 歌える体づくり/ロックについて学ぶ/感想文提出 |
| 5 | 歌える体づくり/R&Bについて学ぶ/感想文提出 |
| 6 | 歌える体づくり/昭和歌謡について学ぶ/感想文提出 |
| 7 | 歌える体づくり/映画音楽について学ぶ/感想文提出 |
| 8 | 歌える体づくり/ミュージカル、オペラについて学ぶ/感想文提出 |
| 9 | テスト/評価 |
| 10 | 歌える体づくり/ゴスペルについて学ぶ/感想文提出 |
| 11 | 歌える体づくり/ブルースについて学ぶ/感想文提出 |
| 12 | 歌える体づくり/ジャズについて学ぶ/感想文提出 |
| 13 | 歌える体づくり/ロックについて学ぶ/感想文提出 |
| 14 | 歌える体づくり/R&Bについて学ぶ/感想文提出 |
| 15 | 歌える体づくり/昭和歌謡について学ぶ/感想文提出 |
| 16 | 歌える体づくり/K-POPについて学ぶ/感想文提出 |
| 17 | 歌える体づくり/映画音楽について学ぶ/感想文提出 |
| 18 | 歌える体づくり/ミュージカル、オペラについて学ぶ/感想文提出 |
| 19 | テスト/評価 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | 必要に応じて資料配布 |
| 成績評価 | テスト評価70%、授業態度および学習態度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 2011年～市内中学校、施設、ダンススタジオにてヴォーカル指導。 2014年～東京交響楽団にいがたコーラス所属。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------|---|---------|-------|
| 科目名 | オーディション対策 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 李 玗承 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | プロフィール写真撮影 プロフィール作成 質疑応答練習 課題曲 自由曲指導 動画撮影 パフォーマンス力、メンタル強化へつなげる。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | プロフィール写真撮影/プロフィール作成 |
| 2 | プロフィール写真撮影/プロフィール作成(完成) |
| 3 | 課題曲、自由曲発表/ステージング作法指導 |
| 4 | 課題曲、自由曲練習/動画撮影/ステージング作法指導 |
| 5 | 課題曲、自由曲練習/動画撮影/ステージング作法指導 |
| 6 | 課題曲、自由曲練習/動画撮影/ステージング作法指導 |
| 7 | 課題曲、自由曲練習/動画撮影/ステージング作法指導 |
| 8 | 模擬オーディション |
| 9 | 発表/評価 |
| 10 | プロフィール写真撮影/プロフィール作成 |
| 11 | プロフィール写真撮影/プロフィール作成(完成) |
| 12 | 課題曲、自由曲動画撮影/ステージング作法指導 |
| 13 | 課題曲、自由曲動画撮影/ステージング作法指導 |
| 14 | 課題曲、自由曲動画撮影/ステージング作法指導 |
| 15 | 課題曲、自由曲動画撮影/ステージング作法指導 |
| 16 | 課題曲、自由曲動画撮影/ステージング作法指導 |
| 17 | 課題曲、自由曲動画撮影/ステージング作法指導 |
| 18 | 模擬オーディション |
| 19 | 発表/評価 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | 使用しない |
| 成績評価 | 発表評価70%、授業態度および学習態度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 2011年～市内中学校、施設、ダンススタジオにてヴォーカル指導。 2014年～東京交響楽団にいがたコーラス所属。 |

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------|---|---------|-------|
| 科目名 | ヴォーカルレコーディング | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | マクレーン有美 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>実際のレコーディングを通して、コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤフォン)を使つてのモニタリングやキューボックスの操作に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ 録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げていく 声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|------------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション、選曲のポイント説明、目的を明確にし、目標を立てる |
| 2 | レコーディング |
| 3 | レコーディング |
| 4 | レコーディング |
| 5 | レコーディング |
| 6 | レコーディング |
| 7 | レコーディング |
| 8 | レコーディング |
| 9 | レコーディング |
| 10 | レコーディング |
| 11 | レコーディング |
| 12 | レコーディング |
| 13 | レコーディング |
| 14 | レコーディング |
| 15 | レコーディング |
| 16 | レコーディング |
| 17 | レコーディング |
| 18 | レコーディング |
| 19 | 作品視聴会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | <p>授業態度および学習意欲70%、デモ音源評価30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドルを指導、ライブパフォーマンス、レコーディングディレクション行う ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験</p> |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------|---|---------|-------|
| 科目名 | アンサンブル実習 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 梅川 洸平 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | アンサンブルを通じて、バンドでのリズム・メロディ・ハーモニーのアレンジを総合的に学ぶ。課題曲を演奏したり、課題曲をアレンジしたりして楽曲への理解を深め、アレンジも行えるように指導を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--------------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション。マスタリズム・楽譜とは何か。課題曲①(ワンコーラス) |
| 2 | 課題曲① |
| 3 | 課題曲② |
| 4 | 課題曲② |
| 5 | 課題曲③ |
| 6 | 課題曲③ |
| 7 | 前期末課題曲④ |
| 8 | 前期末課題曲④ |
| 9 | 前期末課題曲テスト |
| 10 | 課題曲⑤ |
| 11 | 課題曲⑤ |
| 12 | 課題曲⑥ |
| 13 | 課題曲⑥ |
| 14 | 課題曲⑦ |
| 15 | 課題曲⑦ |
| 16 | 課題曲⑦ |
| 17 | 後期末課題曲④ |
| 18 | 後期末課題曲④ |
| 19 | 後期末課題曲テスト |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし |
| 成績評価 | テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | | |
|------|--------|---|---------|--------------|----|
| 科目名 | 芝居基礎 | | 実務授業の有無 | ○ | |
| 担当講師 | 戸中井三太 | | 講義実施時期 | 前期・後期 | |
| | | | 必修・選択 | 選択必修 | |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 38 | 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | ヴォーカル&ダンスコース | |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 姿勢・呼吸・発声・発音などの基本を身につける。 いくつかのテキストを使用して、シーンのとらえ方やセリフを生み出す感覚を研究。 シアターゲームやエチュードを通して、舞台上のコミュニケーションと感覚の解放などを体験する。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 発声・発音の基本訓練法を指導。各生徒の声の特性に添って指導。 指定テキスト(共通課題)の読解と表現。生徒の個人課題として、各自に取り組みたいテキストを探してくるように指示。 |
| 2 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現。共通課題と個人課題を並行して進める。 |
| 3 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現。 |
| 4 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現。 |
| 5 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現に動きを付ける。 |
| 6 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現に動きを付ける。 |
| 7 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現に動きを付ける。 |
| 8 | 基礎訓練。共通課題と個人課題の表現の仕上げ。 |
| 9 | 基礎訓練。リハーサル。発表。 |
| 10 | 発声・発音の基本訓練法を指導。各生徒の声の特性に添って指導。 指定テキスト(共通課題)の読解と表現。生徒の個人課題として、各自に取り組みたいテキストを探してくるように指示。 |
| 11 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現。共通課題と個人課題を並行して進める。 後期は短編の芝居を作る。 |
| 12 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現。 |
| 13 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現。 |
| 14 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現に動きを付ける。 |
| 15 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現に動きを付ける。 |
| 16 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現に動きを付ける。 |
| 17 | 基礎訓練。ゲーム、エチュード。テキスト表現に動きを付ける。 |
| 18 | 基礎訓練。共通課題と個人課題の表現の仕上げ。 |
| 19 | 基礎訓練。リハーサル。発表。 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 劇団カタコンベ主宰(脚本・演出・出演) リューとびあ演劇スタジオ・キッズコース演技トレーナー・演出(2000年から現在) i-MEDIA非常勤講師(2007から2017年)として演技訓練と舞台制作実習演出 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------|---|---------|--------------|
| 科目名 | ダンス基礎 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 大澤 菜花 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 選択必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | ヴォーカル科 | | 対象コース | ヴォーカル&ダンスコース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | ヴォーカル、ダンス、パフォーマンスのためのダンス基礎強化、表現力強化 動画撮影 ステージでの発表 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ダンスウォームアップ 基礎練習 |
| 2 | ダンスウォームアップ 基礎練習 |
| 3 | ダンスウォームアップ 基礎練習 曲選考 |
| 4 | 曲選考 曲決め |
| 5 | 歌割決め 振り入れ |
| 6 | ダンスウォームアップ 振り入れ |
| 7 | ダンスウォームアップ 振り入れ |
| 8 | まとめ |
| 9 | 発表/評価 |
| 10 | ダンスウォームアップ 基礎練習 |
| 11 | ダンスウォームアップ 基礎練習 |
| 12 | ダンスウォームアップ 基礎練習 曲選考 |
| 13 | ダンスウォームアップ 基礎練習 曲決め |
| 14 | ダンスウォームアップ 振り入れ |
| 15 | ダンスウォームアップ 振り入れ |
| 16 | ダンスウォームアップ 振り入れ |
| 17 | まとめ |
| 18 | 動画撮影等 |
| 19 | 発表/評価 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | 使用しない |
| 成績評価 | 発表評価70%、授業態度および学習態度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 2001年～ダンスチーム ホッピーズ専属講師 |